

伊藤明生

教授 図書館長

I 教育業績

1 担当した授業

「新約聖書概論1」「新約聖書概論2」「新約聖書緒論」「新約聖書研究Ⅲ」New Testament Survey I, New Testament Survey II, New Testament Exegesis

2 作成した教科書、教材、参考書

作成途中のものとしては、新約聖書概論の教科書と新約聖書研究Ⅲの教科書がある。後者は既に原稿は仕上げで出版社で編集中。

3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

4 教育関連の委員会など

図書館長

図書館委員会 (委員長)

世界宣教講座委員会

教員人事委員会

教授会読書会にて『ベストプロフェッサー』の第7章を担当して報告を作成した。

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

学生の公園伝道サークル「わわわ」の顧問

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、養育実践に関する受賞など)

新改訳編集委員として改訂作業に携わった。

併設する専修学校(東京基督神学校)で、「聖書概論Ⅰ」「新約緒論」を担当した。

II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
「御霊かいのち」か「霊は生きている」か：ローマ人への手紙8章10節を巡って	EXGETICA	第20号	聖書釈義研究会	12月	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
SBL International Meeting in Rome	By, In or For the Hope	Society of Biblical Literature	ローマ	6月30日－7月4日	
Codex Sinaiticus		British Library	ロンドン	7月6－7日	
SBL Annual Meeting	Spirit is life or the spirit is alive?	Society of Biblical Literature	ニューオーリーズ	11月20－24日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
Society of Biblical Literature					
Tyndale Fellowship					
聖書釈義研究会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
Society of Biblical Literature					
聖書釈義研究会					
Tyndale Fellowship					
日本新約学会					
●社会的活動					

稲垣久和	教授 国際キリスト教福祉学科長、キリスト教福祉学専攻長、 共立基督教研究所長
------	-------------------------------------------

I 教育業績

1 担当した授業

キリスト教哲学、宗教哲学、科学と宗教、キリスト教公共福祉学入門、公共哲学と福祉

2 作成した教科書、教材、参考書

「時の法令」連載記事を編集して使用

3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

新たな試みのクラスその他クラスとの連携と位置づけ

4 教育関連の委員会など

学務会議
進路指導委員会
教育研究・カリキュラム委員会
学生募集委員会
教員人事委員会

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)

市民集会などで公共哲学関係の講演など

II 研究業績

1 単行本

書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
教会と学校での宗教教育再考	個人の尊重と「公共の精神」	森弘一、M・マタタ	オリエンズ 宗教研究所	2009年	宗教教育の公共的意味

2 論文・記事

論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
公共哲学と宗教倫理	宗教研究	第83巻第2号 (361) 25-50頁	日本宗教学会	2010年9月30日	

公共哲学から見た賀川豊彦	紀要	第42号247-279頁	明治学院大学 キリスト教研究所		
脱生産主義の時代へ	北海道新聞	2010年5月8日	北海道新聞社	2010年5月8日	
東アジアの創発民主主義の形成	公共的良識人	214号	京都フォーラム	9月1日	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
キリスト教社会福祉の過去・現在	公共福祉という考え方	キリスト教社会福祉学会	ルーテル学院大学	7月3-4日	
韓日哲学者フォーラム	東アジアにおける創発民主主義	シアル研究所	韓国・木浦大学	7月5-12日	
democracy, religion and culture	Kagawa and Emergent Democracy	アムステルダム自由大学	アムステルダム	8月20-27日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
日本基督教学会（理事）					
比較思想学会（幹事）					
日本宗教学会					
日本平和学会					
キリスト教社会福祉学会					
ポパー哲学研究会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
キリスト教公共福祉研究会、科学と宗教研究会（共立基督教研究所）					
NPO公共哲学研究会（共同代表）					
●社会的活動					

井上貴詞

助教

I 教育業績

1 担当した授業

基礎演習、社会福祉学Ⅰ、介護概論、キリスト教公共福祉入門、実習指導演習Ⅰ、介護実習Ⅰ

2 作成した教科書、教材、参考書

授業で使用する独自のリアクションペーパーを作成。福祉関係の映像教材は、まだ図書館等非常に少ない状態であり、かつ既存の福祉映像DVDは必ずしも、

3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

2人1組、4人1組、グループ対グループなどの参加形式の授業を随所に取り入れ、メリハリをもたせ、学生の学ぶ意欲を喚起。

ポートフォリオ形式の評価の一環としてリアクションペーパーの活用

パワーポイントによるスライドの作成、DVD等の映像の活用

学生のプレゼンテーション実施

オンラインを利用したインフルエンザ休校時の課題の対応

4 教育関連の委員会など

自己点検・自己評価委員会

基本的に週1度のキリスト教福祉専攻会議出席

キリスト教福祉専攻教務主任として、全体の教務のまとめ、他の教員への面談、新任教員へのフォロー、非常勤教員との懇談、連絡調整

後援会委員、学園デー主宰に参加

千葉県介護福祉士会養成協議会に出席

千葉県人材確保委員会に出席

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

学園祭において福祉企画の出展の奨励、学生への指導、対外的な調整（行政や社協と。ハンディ体験ツールを貸与）

学習支援クラス出席、履修の要支援かつ生活指導が必要な学生の相談、指導、父母とのコンタクト

授業や実習施設の場として老人保健施設を新規2件訪問、内1件は実習指導の授業の一環として活用。施設担当者と調整、報告。

実習施設契約のための書類の整備と連絡、第一段階の実習準備と訪問

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、養育実践に関する受賞など)

高座エクステンション講師

茨城県介護支援専門員更新・再研修講師

茨城県主任介護支援専門員研修講師

茨城県介護支援専門員実務研修講師

茨城県ケアマネジャー協会主催介護支援専門員試験対策セミナー講師

保健医療福祉研究会（今高塾）でセミナー講師
 練馬キングスガーデン牧師会において福祉セミナーと専攻の説明
 日本キングス・ガーデンホームヘルパー2級講座講師
 浜名湖バイブルキャンプ場を訪問、福祉専攻の説明
 福島地区学園デーにおいて2日間にわたって講演会、勿来キリスト教会で礼拝メッセージ担当
 AGST（アジア神学大学院）実践ゼミ（東京基督神学校が委託された福祉ゼミに出講またアドバイザーとして出席）

II 研究業績

1 単行本

書名	執筆記事タイトル（共著等の場合）	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
----	------------------	--------	----	-----	-------

2 論文・記事

論文タイトル	発表媒体（学会誌・雑誌名等）	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
教会と福祉を考える-求められる人材像とは何か	ホ・ロゴス	Vol.12-No.3、8-11頁	ロゴス会	2009年.9月	
福祉人材の育成とコンピテンシー -主任介護支援専門員の育成の課題に焦点をあてて-	キリストと世界	第20号	東京基督教大学	2010年3月	
介護支援専門員のコンピテンシーに関する研究	未発表（一部を改変して紀要で発表）			2010年2月	ルーテル学院大学大学院修士論文

3 学会・研究集会等への出席

集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
日本ケアマネジメント学会大会		日本ケアマネジメント学会	パシフィコ横浜	6月19-20日	
日本キリスト教社会福祉学会大会		日本キリスト教社会福祉学会	ルーテル学院大学	6月26-27日	
日本伝道会議	今、なぜキリスト教福祉か	JEA、日本伝道会議実行委員会	札幌コンベンション	9月21-24日	

4 前項以外の研究旅行

旅行先	目的	実施期間	備考
ルーテル学院大学院	学位取得目的で大学院通学	4月12-21日	
東京都内	国際コーチング連盟認定コーチング研修	8月21-23日	
東京都内	グランデッドセオリー研究会	7月26日	
御茶ノ水	介護概論の教育方法研修	6月13日	

5 所属学会・研究会・社会的活動

●所属学会

日本キリスト教社会福祉学会
 日本介護学会
 日本介護福祉士会・日本社会福祉士会・日本介護支援専門員協会の全国職能団体組織の会員

●主な出席研究会、他の研究活動

キリスト教公共福祉研究会（座長、東京基督教大学 共立基督教研究所）

●社会的活動

介護保険事業のスーパーバイザー（教会の介護保険指定事業）、運営委員長

社会福祉法人日本キングス・ガーデン 評議員

日本介護福祉士養成協会総会出席

日本介護福祉士養成協会千葉県支部連絡会に出席

茨城県介護支援専門員更新研修・実務研修・主任介護支援員専門研修の準備検討会議に出席

岩田三枝子

講師

I 教育業績

1 担当した授業

キリスト教世界観I、キリスト教世界観II、西洋思想史、女性と社会、国際キリスト教学入門、聖書学英書講読、キリスト教倫理、異文化間コミュニケーション、地域研究序説、基礎演習

2 作成した教科書、教材、参考書

3 教育内容・方法の工夫

(教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

- ・パワーポイント（プロジェクター）の使用：文字だけではなく、特に西洋思想史などでは、絵画や建物の写真などを効果的に見せることが出来る。
- ・ビデオ、DVDの使用：講義だけでは理解しにくい部分を、ビデオやDVDの活用で補う。特に西洋思想史では効果的。
- ・小テスト：單元ごとに小テストを実施することにより、学生が授業に集中するモチベーションともなる。また、單元ごとの復習の機会となる。西洋思想史
- ・ディスカッション：講義内容に応じて、ディスカッションペーパーを用意しておく。そこには、講義に関連した質問事項があり、まずは自分で考えた後、小グループで質問に回答する形で持つ。講義内容の復習、確認にもなる。また、小さな学校という利点から、クラスメート同士は互いに知り合いなので、ディスカッションも話が弾みやすいようだ。特に、キリスト教世界観のクラスでは効果的。
- ・ゲストスピーカー：教室での講義だけでは実感が持ちにくい内容の際に、当事者を招いて現場からの話をさせていただく。キリスト教世界観、女性と社会、国際キリスト教学入門、キリスト教倫理の授業などで実施。
- ・ミニットペーパー：毎回、講義に関連した内容から、小さなお題を出し、回答してもらう。次回のクラスの初めに、匿名でそのペーパーの回答を紹介したり、コメントを付けたりする。アイスブレイキングにもなり、学生からのダイレクトな反応も確かめられる。異文化間コミュニケーションなどで実施。
- ・学生による発表：学期中間に提出されたレポートの中から優秀な学生2、3人のものを選出し、クラスの中で発表してもらう。教員側がレポート提出にめたり意図していたことは何か、優秀なレポートとはどういうものかを、説明するよりも実際のレポートに触れる方が効果的。また、選出された学生にとっては、励みにもなると思う。
- ・資料の配布：授業のスケジュール、課題、推薦文献、講義内容などをまとめた資料を小冊子風にして、最初のクラスで配布。学期がどのように進んでいくのかや課題を一目で確認でき、学生にとっての学期全体の計画作りにも役立つと思っている。
- ・学生同士のピアレビュー：特にプレゼンテーションを課する授業の場合、教員からのコメントだけではなく、コメント用紙を用意し、聴衆側である学生にも良かった点、改善点などの評価を記入させることにより、積極的な参加を促し、また学生同士の切磋琢磨を促している。

4 教育関連の委員会など

学習支援プログラム担当

異文化実習委員会

イスラエル・スタディツアー委員会

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

ブラックゴスペル部顧問

6 その他の教育活動

(公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)

キリスト教世界観ネットワーク講演（2月27日）

II 研究業績

1 単行本

書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考

2 論文・記事

論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考

3 学会・研究集会等への出席

集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
日本基督教学会関東支部会		日本基督教学会	聖学院大学	3月27日	

4 前項以外の研究旅行

旅行先	目的	実施期間	備考

5 所属学会・研究会・社会的活動

●所属学会

日本基督教学会
賀川豊彦学会

●主な出席研究会、他の研究活動

●社会的活動

岡村直樹	教授
------	----

I 教育業績					
1 担当した授業					
現代神学、組織神学1、キリスト教史1、ユースミニストリーの神学と実践、日本の宗教と哲学、基礎演習、コンテクスチュアライゼーションの神学、Religion and Society、Expansion of Church、Japanese Religion and Philosophy、Theology of Contextualization、卒業研究					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)					
1) 授業では極力パワーポイントを用い、ノートをとりやすく、わかりやすい授業を心がけている。					
2) 学生が質問やディスカッション、プレゼンテーション等を通して、主体的に参加出来る授業形態を用いている。					
4 教育関連の委員会など					
教務部長補佐					
教育研究・カリキュラム委員会					
大学院開設準備室					
教育情報化委員会					
障がい学生修学支援委員会					
奨学金委員会					
自己点検・自己評価委員会					
学生募集委員会					
5 課外活動など授業以外での教育的貢献					
日本同盟基督教団の夏期青年研修会において講演を行った。					
中国四国地区学園デーにおいて講師をつとめた。					
高校生を対象としたキリスト教団体 (Hi-b-a) のスタッフ研修会で講師をつとめた。					
宇都宮インターナショナルクリスチャンスクールにおいて模擬授業を行った。					
6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)					
II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考

2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
Intercultural Encounters as Religious Education: Japanese Students at a Christian University and their Religious Transformation	The Journal of the Religious Education	Vol. 104, #3, 289-302	Routledge, Taylor & Francis	2009年5月	
「クリスチャンユースの死生観形成に関する質的研究」	キリストと世界	20号: 40-65頁	東京基督教大学	2010年3月	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
日本キリスト教教育学会全国大会	ユースの信仰成長に関するグラウンデッドセオリーを用いた質的研究	日本キリスト教教育学会	北陸学院大学	5月29-30日	
日本基督教学会全国大会	クリスチャンユースの死生観形成に関する質的研究	日本基督教学会	北海学園大学	8月28-29日	
日本基督教学会東部部会	プロセス神学と現象学の融合: メリー・エリザベス・モアーの視点から	日本基督教学会東部部会	ルーテル学院大学	3月17日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
American Academy of Religion					
Religious Education Association					
日本福音主義神学会					
日本基督教学会					
宗教心理学研究会					
学校伝道研究会					
日本キリスト教教育学会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
日本福音主義神学会					
日本基督教学会					
学校伝道研究会					
日本キリスト教教育学会					
共立基督教研究所の所員として、科学と宗教研究会に定期的に出席している。					
●社会的活動					
大学の学園祭において、地域住民を含めた一般向けの「自殺予防教育」に関する公開講義を行った。					

木内伸嘉	教授 神学科長
------	---------

I 教育業績						
1 担当した授業						
ヘブライ語 I・II・III、旧約研究II・III、Pentateuch						
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)						
Pentateuchの英語による授業では、授業のアウトラインとポイントを前以て学生に与え、理解の助けとした。						
4 教育関連の委員会など						
学務会議						
紀要委員会						
進路指導委員会						
教育研究・カリキュラム委員会						
学生募集委員会						
教員人事委員会						
5 課外活動など授業以外での教育的貢献						
6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)						
Asia Graduate School of Theology主催で、9-11月に5回にわたって、旧約聖書における「神礼拝」について、主にレビ記から講演をした。						
II 研究業績						
1 単行本						
	書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
2 論文・記事						
	論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
	エゼキエル書18章における命と死	Exegetica	20号、69-101頁	聖書積義研究会	12月	
3 学会・研究集会等への出席						
	集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
	聖書積義研究会	エゼキエル18章における命と死	聖書積義研究会	東京	5月18日	

聖書釈義研究会	エゼキエル18章における命と死	聖書釈義研究会	川崎市	8月20-21日	
聖書釈義研究会	異邦人が唯一神を認識するとは（エゼキエル30章）	聖書釈義研究会	東京	12月28日	
日本福音主義神学会春の研究会		日本福音主義神学会	東京	6月8日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的	実施期間	備考		
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
日本旧約学会					
日本福音主義神学会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
聖書釈義研究会					
●社会的活動					
新改訳聖書第三版の改訂作業に従事し、月に一度の発表を継続した。					
『Exegetica』20号の編集					
『福音主義神学』40号の編集					

杉谷乃百合

准教授

I 教育業績

1 担当した授業

心理学I、心理学II、キリスト教教育I、キリスト教教育II、キャリア教育、女性と社会（ティームティーチング）、キリスト教公共福祉（ティームティーチング）、Psychology I・II

2 作成した教科書、教材、参考書

全ての講義をパワーポイント化。

3 教育内容・方法の工夫 （教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用）

授業のデリバランスは、ダイアレクティカルな講義の比率を可能な限り抑え、学生が主体となるアクティビティーを取り入れることを工夫。例えば、ディスカッション、スモールグループ、ロールプレイング等の導入。講義がメインとなる心理学の課題は、学生同士のインターアクションを促進するダイアドプロジェクト（授業後ダイアドパートナーが講義内容の復習をし、理解を深め、日常生活からの観察や個人の振り返りを含めたレポートにまとめる）を毎年採用。多くの学生にとってはじめての学びとなるキリスト教教育では、教会やクリスチャン施設の現場とつながりが持てるよう施設見学や、現場でのインタビューを奨励する課題を提供。アジア神学コースの授業では、世界各国からの学生への文化に敬意を払うべく、各学生のバックグラウンドを理解し合う質問（教科関連）を毎授業に取り入れている。

担当授業科目は、早期からのシラバス化を通し授業の意義、ゴール、講義スケジュール、評価を明確化し、学生の学習のオーガニゼーション、プランニングを促進、サポート。

学生の学習評価は、出席率、授業参加も成績に反映される尺度を採用。また、ノーム評価とクライテリア評価を混合することにより学生の様々な学習傾向ができる限り反映されるよう考慮。

授業評価は、当大学が2007年度に義務化する以前から全ての担当授業科目で授業評価を取り、統計データ化、翌年授業の改善に役立てている。

4 教育関連の委員会など

学生相談室（室長）

学生募集委員会

進路指導委員会

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

2009年11月 日本イエス・キリスト教団東京若枝教会「中高年のこころを学ぶ」（講演会）

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)					
II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
日本学生相談学会研修会		日本学生相談学会	東京	11月	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的			実施期間	備考
米国 Seattle Pacific University	研究			7-9月	
同上	研究			3月	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
American Educational Research Association					
日本心理臨床学会					
日本学生相談学会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
科学と宗教研究会 (東京基督教大学 共立基督教研究所)					
●社会的活動					
社会福祉法人「四恩会」昭和保育園理事					
宗教法人・日本ナザレン教団 昭和町教会役員					
2009. 11. 3 講演会「中高年のころを学ぶ」日本・キリスト教団東京若枝教会					

Joseph Poulshock

教授

I 教育業績

1 担当した授業

Total English A, Total English B, Science and Religion, Global Christianity

2 作成した教科書、教材、参考書

BeeOasis.com -- 200 Stories in the Arts and Sciences for Language Learners

3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

Developed RPLI Method for Conversation

- ・ Rear Projection Linguistic Interaction (RPLI)
- ・ Use rear projection of images and texts to facilitate information gap conversation between partners.

4 教育関連の委員会など

紀要委員会

学生募集委員会 (アジア神学コース)

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

NA

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)

Coordinator of Special English Events at Saint Luke's International Hospital.

Video and Story Consultant for EnglishCentral.com

II 研究業績

1 単行本

書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考

2 論文・記事

論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
Extensive Graded Reading in the Liberal Arts and Sciences.	A paper accepted to the Journal Reading in a Foreign Language (RFL)		to be published in October 2010.	Oct-10	

Graded Liberal Arts and Sciences for Language Education.	JALT 2009, Conference Proceedings.	To be published Fall 2010	JALT	Fall 2010	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
JALTCALL 2009	Extensive Graded Reading in the Liberal Arts with Digital Media	JALT CALL 2009	東洋学園大学	6月5-6日	
JALT 2009 Conference	Podcasting High Frequency Vocabulary.	JALT 2009 Conference	静岡グランシップ	11月22-23日	
同上	Liberal Arts and Sciences for Language Educators	同上	同上	同上	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
JALT (The Japan Association for Language Teaching)					
●主な出席研究会、他の研究活動					
●社会的活動					

中澤秀一	准教授
------	-----

I 教育業績					
1 担当した授業					
介護福祉概論 介護福祉実習指導 介護技術演習					
2 作成した教科書、教材、参考書					
ICFの視点に基づく高齢者ケアプロセス					
3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)					
介護技術演習におけるPBL (Problem-based learning)					
4 教育関連の委員会など					
5 課外活動など授業以外での教育的貢献					
6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)					
II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
ICFの視点に基づく高齢者ケアプロセス	コラム グリーフケア	安藤邑恵・小木曾加奈子	学文社	2009年	p. 136
2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
「資格取得時の介護福祉士養成の目標」における資質習得を目指した教育方法に関する研究－ドイツの老人介護士 (Altenpfleger/in) 養成教育方法を手がかりとして	介護福祉教育	14巻第2号 (通巻第27号)	日本介護福祉教育学会	2009年6月	学術雑誌 (中澤秀一)
介護福祉士養成教育におけるカリキュラム構成に関する研究－A短期大学卒業生のアンケート調査を手がかりとして	湊川短期大学研究紀要	46集	湊川短期大学	2010年2月	大学紀要 (中澤秀一)

介護福祉士養成教育におけるプロジェクト型学習の効果と課題－S市健康福祉フェア参加市民および学生へのアンケート調査を手がかりとして	兵庫教育大学研究紀要	36巻	兵庫教育大学	2010年3月	大学紀要（佐藤真・中澤秀一）
介護過程における教育方法に関する研究－ロジカルシンキングに基づくワークシートの活用	兵庫教育大学研究紀要	35巻	兵庫教育大学	2010年9月	大学紀要（佐藤真・中澤秀一）
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
第17回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集	「資格取得時の介護福祉士養成の目標」における 資質習得に関する課題	日本介護福祉学会	東京都	9月12－13日	単独発表
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
日本カリキュラム学会					
日本介護福祉教育学会					
日本介護福祉学会					
日本キリスト教社会福祉学会					
愛知県高齢者福祉研究会					
佛教大学社会福祉士の会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
●社会的活動					

宮脇聡史	准教授
------	-----

I 教育業績						
1 担当した授業						
国際関係論、平和学、政治学、東南アジア概説、近代国際関係史Ⅲ、Introduction to East and Southeast Asian History、フィリピン語Ⅰ、フィリピン語Ⅱ、地域研究序説、異文化実習						
2 作成した教科書、教材、参考書						
各教科の各回のシラバスのみ						
3 教育内容・方法の工夫 <small>(教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)</small>						
神学的な視点と社会科学的な視点の接点にかかわる問題提起を積極的に織り込んだ。						
学生による調査・発表の機会をもうけた。						
学生に課す課題を、発表、小レポート、授業内でのコメント票、学期末試験などに分散した。						
「持ち込み可」の筆記式学期末試験を実施し、「調べて論述する」訓練の場とした。						
視聴覚教材の収集に努め、積極的に活用した。						
4 教育関連の委員会など						
国際キリスト教学専攻 教務主任						
図書館委員会						
異文化実習委員会						
自己点検・自己評価委員会						
紀要委員会 (委員長)						
5 課外活動など授業以外での教育的貢献						
異文化実習インターンにおける学生の引率						
サークル (Helping Hands for the Needy) 顧問としてのアドバイス						
6 その他の教育活動 <small>(公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)</small>						
フィリピン語 (放送大学面接授業・非常勤講師)						
II 研究業績						
1 単行本						
	書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考

2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
フィリピン・カトリック教会の公文書に見られるフィリピン史解釈	東洋文化研究所紀要	157冊、122-154頁	東京大学 東洋文化研究所	2010年3月	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
東南アジア学会 第81回研究大会	マレー世界におけるアディル (公正／正義) 概念の展開 (コメント)	東南アジア学会	京都大学	6月6-7日	
同 第82回研究大会		東南アジア学会	慶應大学	12月5-6日	
東南アジア学会関東部会		東南アジア学会 関東部会	上智大学	10月24日	
第14回フィリピン研究会全国フォーラム		同フォーラム 実行委員会	早稲田大学	7月11-12日	
公共領域としての地域研究の可能性 (共同研究会)	マレー世界におけるアディル (公正／正義) 概念の展開 (コメント)	京都大学地域研究 統合情報センター・ 個別共同研究ユニット (代表・西尾寛治)	京都大学	4月24日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的			実施期間	備考
フィリピン (マニラ・セブ)	現地での人間関係構築・文献収集			11月19-25日	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
東南アジア学会					
アジア政経学会					
「宗教と社会」学会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
フィリピン研究会全国フォーラム					
「講座 東南アジア史」読書会 (東京大学大学院・古田元夫ゼミ有志)					
●社会的活動					
特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター ICAN 理事					
日本同盟基督教団 東京宣教区 副宣教区長					
キリスト者学生会 評議員					

森 恵子	講師
------	----

I 教育業績					
1 担当した授業					
Total English B, Total English C, Total English D					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)					
学内e-learningシステムを活用し、発音に関する教材を利用すると共に、自己学習の機会を提供した。					
学期ごとのポートフォリオ提出により、学生が自らの学習を振り返り、評価し、目標を立てるよう導いた。					
4 教育関連の委員会など					
5 課外活動など授業以外での教育的貢献					
人形劇サークル顧問					
6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)					
II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
Multilevel and Diverse Classrooms	Go to Commercial: Using Television Commercials in Multilevel EFL Classrooms	Frank Tuzi, Ann Junko young	TESOL	2010年2月	pp. 69-80
2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考

3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的			実施期間	備考
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
JACET					
●主な出席研究会、他の研究活動					
●社会的活動					

柳沢美和子	准教授
-------	-----

I 教育業績					
1 担当した授業					
Elementary Japanese Language and Culture I・II・III, 英語通訳法、日本語教授法					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)					
授業評価は、日本語の方は学内で行うものとは別にもう少し詳しいものを実施しています(今後の改善に生かすため)。					
4 教育関連の委員会など					
寮務委員会(寮務サポーター)					
5 課外活動など授業以外での教育的貢献					
バルナバ会お手伝い チャペル通訳とコーディネート アジア神学コース生・交換留学生の歴史見学(佐原水郷、成田山、房総の村、国立歴史民俗博物館)					
6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)					
II 研究業績					
1 単行本					
書名	執筆記事タイトル(共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考
2 論文・記事					
論文タイトル	発表媒体(学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
平成21年度 東京国際交流館国際シンポジウム「『留学生30万人計画』と日本語教育—大学と予備教育の連携を考える」		東京国際交流館	東京	11月7日	

4 前項以外の研究旅行			
旅行先	目的	実施期間	備考
5 所属学会・研究会・社会的活動			
●所属学会			
American Association for Applied Linguistics (AAAL) 会員			
International Pragmatics Association (IPrA) 会員			
●主な出席研究会、他の研究活動			
●社会的活動			

大和昌平

准教授

I 教育業績

1 担当した授業

礼拝学、東洋思想、説教学演習Ⅱ①②、History of Japanese visual arts and aesthetics、日本の宗教とキリスト教、日本思想、世界の宗教とキリスト教

2 作成した教科書、教材、参考書

3 教育内容・方法の工夫 (教育方法の実践や工夫、マルチメディアの活用、学生による授業評価の採用)

4 教育関連の委員会など

学生部長補佐代行

学生募集委員会

紀要委員会

寮務委員会

5 課外活動など授業以外での教育的貢献

茶道サークル顧問

6 その他の教育活動 (公開講座講師、学外での教育関連の活動、教育実践に関する受賞など)

北陸地区東京キリスト教学園デー (内灘聖書教会) 2009年5月30日

神戸神学館特別講義 2009年10月23日

飯山市メンズブレクファスト 2009年11月14日

聖書宣教会特別講義 2009年12月5日、2010年1月9日

II 研究業績

1 単行本

書名	執筆記事タイトル (共著等の場合)	編者・共著者	発行	発行年	要旨・備考

2 論文・記事

論文タイトル	発表媒体 (学会誌・雑誌名等)	巻・号・通巻号数	発行	発行年月日	備考
不干斎ファビアン研究 (2)	基督神学	NO. 22、65-99頁	東京基督神学校	2010年3月12日	
般若心経における『空』理解による日本宣教の可能性	宣教学ジャーナル	VOL. 3	日本宣教会	2010年6月	

珠玉の名言と聖書のことば（連載）	クリスチャン新聞福音版		クリスチャン新聞	2009年4月－ 2010年3月	
臓器移植法見直しと仏教界	クリスチャン新聞		クリスチャン新聞		
「日本人には日本人のように」粘り腰の 日本宣教論	恵みの雨	2010年1月号	恵みの雨	2010年1月	
書評：土屋澄男『永遠のいのちの中へ： 聖書の死生観を読む』	本のひろば	2010年10月号	本のひろば	2009年10月	
3 学会・研究集会等への出席					
集会名	発表・展示のタイトル	主催	開催地	開催期間	備考
日本伝道会議	通過儀礼としての葬送儀礼に沿う日 本宣教	日本伝道会議 実行委員会	札幌	9月21－25日	
4 前項以外の研究旅行					
旅行先	目的		実施期間	備考	
5 所属学会・研究会・社会的活動					
●所属学会					
日本印度学仏教学会					
日本福音主義神学会西部部会					
日本宣教学会					
●主な出席研究会、他の研究活動					
●社会的活動					